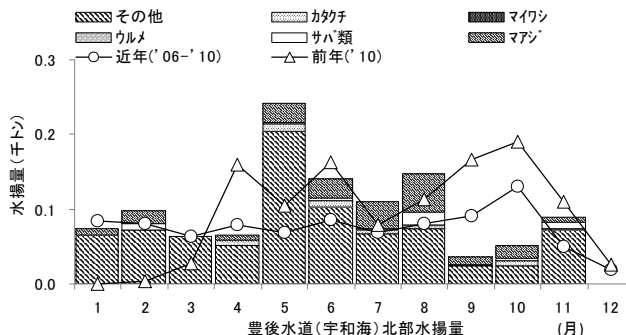
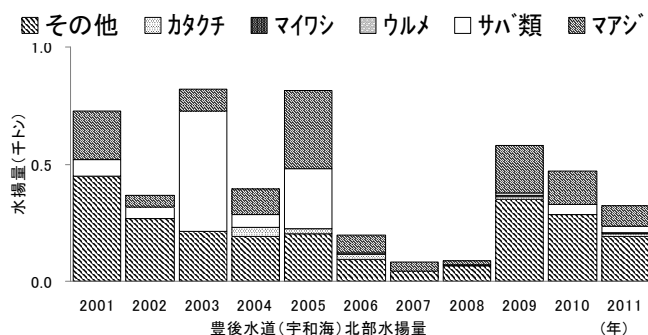


【豊後水道（宇和海）の海域別漁況（まき網）】

2011年8月～11月の経過

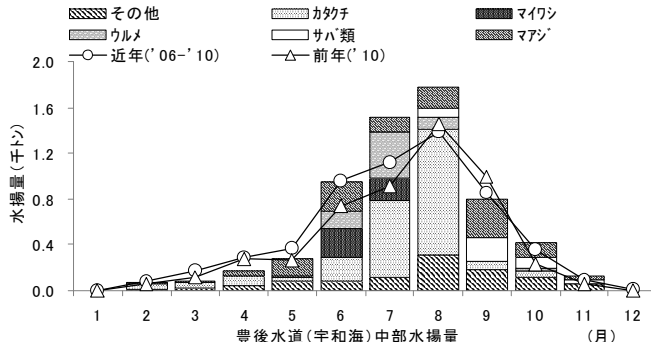
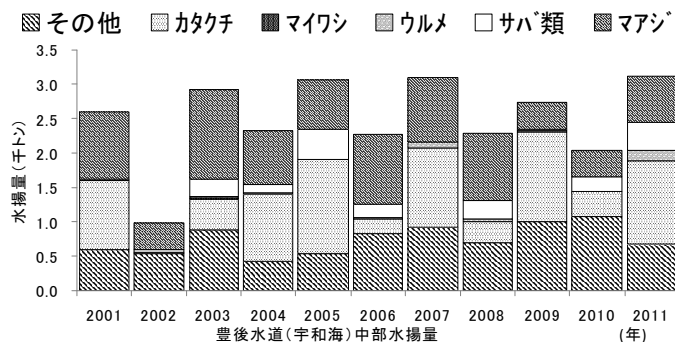
【北部海域】八幡浜漁協水揚げ集計

総水揚量は322トンで、近年同期（2006年～2010年）の283トンを上回る水揚げとなりました。



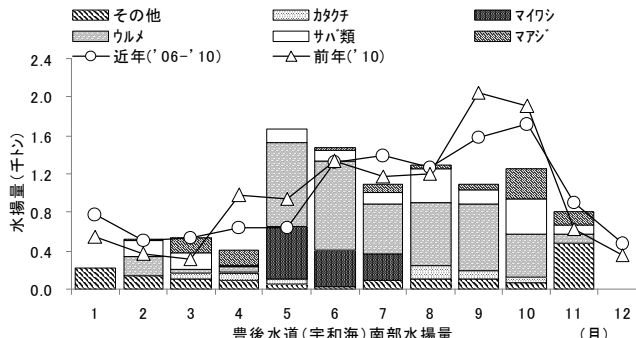
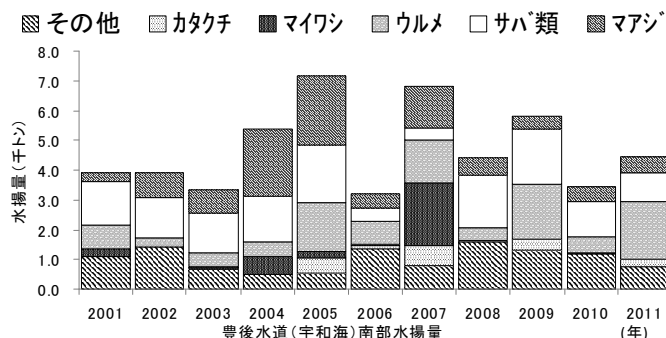
【中部海域】漁連宇和島支部および宇和島漁協水揚げ集計

総水揚量は3,120トンで、近年同期（2006年～2010年）の2,485トンを上回る水揚げとなりました。魚種毎に見ると、カタクチイワシの水揚げが好調で、水揚量は1,223トンと近年同期の669トン大きく上回りました。



【南部海域】愛南漁協水揚げ集計

総水揚量は4,448トンで、近年同期（2006年～2010年）の4,731トン並みの水揚げとなりました。魚種毎にみると、ウルメの水揚げが好調で、水揚量は1,916トンと近年同期の1,033トン大きく上回る水揚げとなりました。一方、マイワシ、キビナゴの水揚げが低調で、水揚量はそれぞれ0トン、345トンと近年同期の431トン、653トンを下回りました。

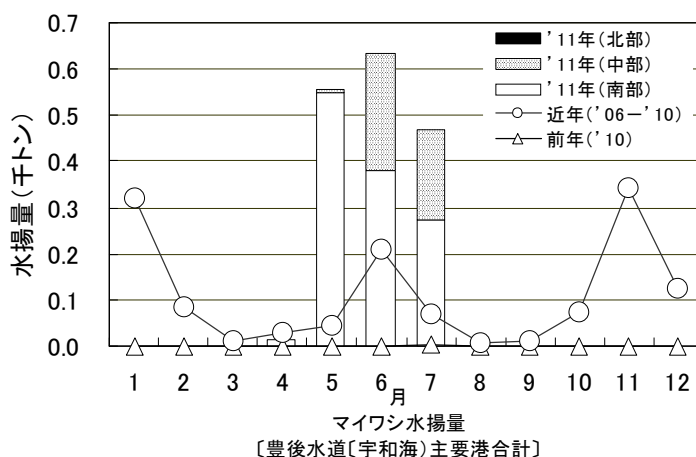
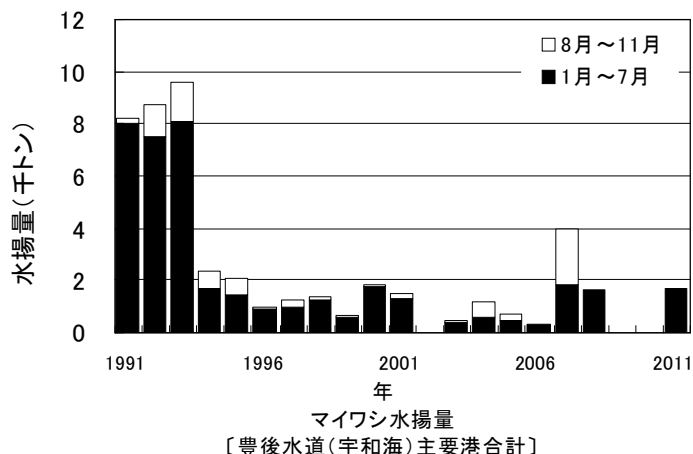


【豊後水道（宇和海）の漁況】

1 マイワシ

(1) 2011 年下半期[8 月～11 月]の経過（近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月）

期間を通して、水揚げは無く、中部海域で 0 歳魚と考えられる個体が混獲される程度でした。



(2) 2012 年上半期[1 月～6 月]の見通し（近年同期：2007 年～2011 年の 1 月～6 月）

1 歳魚の漁獲水準は、前年同期を上回る見込みです。

【説 明】

上半期は、2011 年生まれの 1 歳魚〔体長 15cm～20cm〕が 3 月頃まで漁獲され、4 月以降は 2012 年生まれの 0 歳魚〔体長 10cm 以下〕が漁獲主体となる傾向にあります。

上半期の見通しについては、本県海域を含む西日本一帯で 0 歳魚の漁獲が好調であり、その資源水準は比較的高いと判断されることから、2011 年生まれの 1 歳魚の漁獲水準は前年同期を上回ると予想されます。2012 年生まれの 0 歳魚の漁獲水準の予測は、現段階では難しい状況です。

【参 考】 近県まき網の水揚げ状況【集計期間：8 月～11 月】

(各県当該機関調査)

宮崎県：期間中の総水揚げ量は 133 トンと、近年同期 (159 トン) を下回り、前年同期 (0 トン) を上回りました。

大分県：期間中の総水揚げ量は 1,036 トンと、近年同期 (42 トン)、前年同期 (4 トン) を上回りました。

高知県：期間中の総水揚げ量は 135 トンと、近年同期 (1,193 トン) を下回り、前年同期 (77 トン) を上回りました。

(近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

【豊後水道（宇和海）の漁況】

2 カタクチイワシ

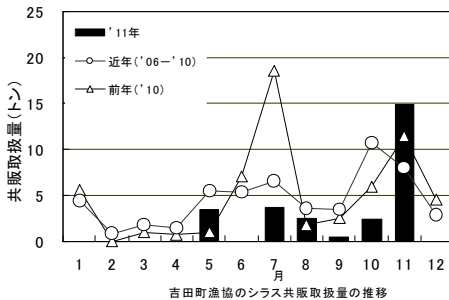
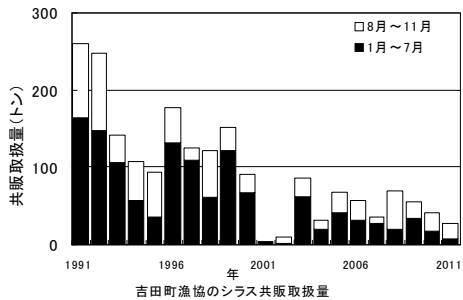
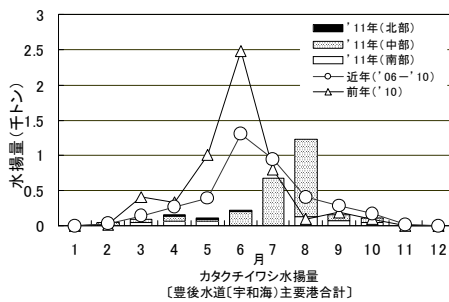
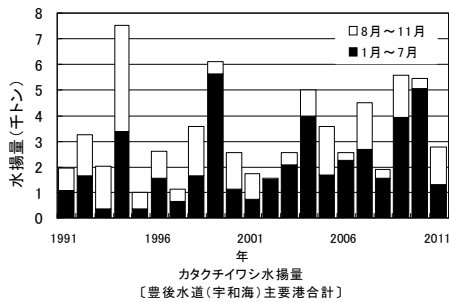
(1) 2011 年下半期[8 月～11 月]の経過 (近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

【カタクチイワシ】

期間中の総水揚げ量は 1,489 トン(近年同期：896 トン)で、2006 年以降では 2007 年に次いで多い水揚げとなりました。地域別の水揚げを見ると、北部海域で 8 トン(近年同期：9 トン)、中部海域で 1,223 トン(近年同期：669 トン)、南部海域で 257 トン(近年同期：219 トン)の水揚げでした。水揚げの主体は、体長 4cm～9cm のサイズでした。

【カタクチシラス】

吉田町漁協における共販取扱量は 20 トン(近年同期：25 トン)で、2006 年以降では 2007 年に次いで少ない水揚げとなりました。月毎の水揚げを見ると、8 月～10 月は近年同期を下回る水揚げが続いていましたが、11 月には 15 トンと近年同期の 8 トンを大きく超える水揚げが見られました。



(2) 2012 年上半期[1 月～6 月]の見通し (近年同期：2007 年～2011 年の 1 月～6 月)

漁獲水準は、前年同期並みになる見込み

【説明】

上半期の漁獲水準は、豊後水道外海から大羽(2 歳魚〔体長 12cm 以上〕)の来遊が見られた場合は高くなる傾向にあります。一方、大羽の来遊が見られない場合は本県周辺海域で発生したと考えられる 2010 年生まれの 1 歳魚〔体長 7cm～10cm〕が漁獲の主体となり、その漁獲量は、大羽の漁獲量に比べて少ない傾向にあります。

上半期の漁況に大きな影響を与える大羽の来遊は、北西太平洋トロール調査による採集結果および大羽の主漁場となる房総海域以北の漁況経過から、前年同様に低水準になると見込まれます。本県および周辺海域で発生した 1 歳魚の漁獲水準については、これらの海域の 8 月～11 月における 0 歳魚漁獲量の径年変化に大きな変動が無いことから、前年並みと予想されます。総合すると大羽の来遊が無かった前年同期並みになると予想されます。

【参考】近県まき網の水揚げ状況【集計期間：8 月～11 月】

(各県当該機関調査)

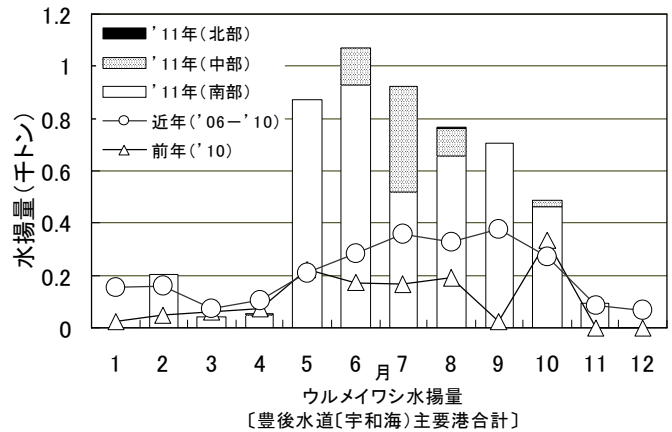
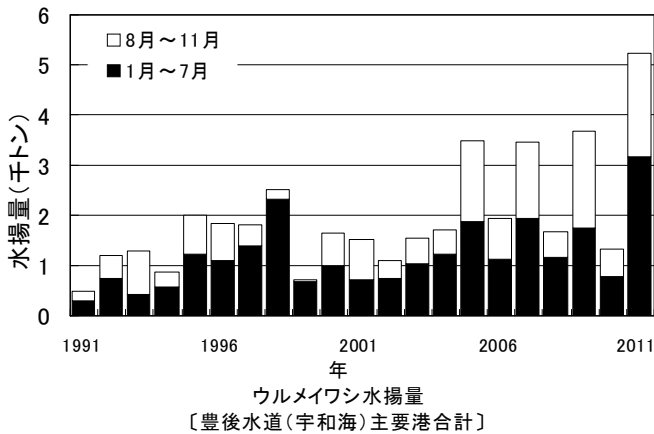
宮崎県：期間中の総水揚げ量は 539 トンと、近年同期(1,043 トン)を下回り、前年同期(106 トン)を上回りました。
大分県：期間中の総水揚げ量は 787 トンと、近年同期(978 トン)を下回り、前年同期(663 トン)を上回りました。
高知県：期間中の総水揚げ量は 629 トンと、近年同期(209 トン)・前年同期(96 トン)を上回りました
(近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

【豊後水道（宇和海）の漁況】

3 ウルメイワシ

(1) 2011 年下半期[8 月～11 月]の経過 (近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

期間中の総水揚げ量は 2,057 トン(近年同期：1,062 トン)で、2006 年以降では最も多い水揚げとなりました。海域別の水揚げを見ると、北部海域で 5 トン(近年同期：0 トン)、中部海域で 136 トン(近年同期：30 トン)、南部海域で 1,916 トン(近年同期：1,033 トン)の水揚げでした。とりわけ南部海域での水揚げが好調で、1980 年以降では最も多い水揚げとなりました。水揚げの主体は体長 8cm～17 cm の 0 歳魚(2011 年生まれ)でした。



(2) 2012 年上半期[1 月～6 月]の見通し (近年同期：2007 年～2011 年の 1 月～6 月)

1 歳魚の漁獲水準は、前年同期を上回る見込みです。

【説 明】

上半期の漁況は、1 月～3 月までは 2011 年生まれの 1 歳魚〔体長 15cm～20cm〕、4～6 月は 2012 年生まれの 0 歳魚〔体長 10cm 以下〕が漁獲の主体となる傾向にあります。

上半期の見通しについては、1 歳魚が主体となる 1 月～3 月の漁獲水準と前年 10 月～11 月の南部まき網による漁獲水準との相関関係から、1 歳魚の漁獲水準は前年を上回ると予想されます。0 歳魚を主体とする 4 月～6 月の漁獲水準は、現段階での予測は難しい状況にあります。

【参 考】近県まき網の水揚げ状況【集計期間：8 月～11 月】

(各県当該機関調査)

宮崎県：期間中の総水揚げ量は 7,224 トンと、近年同期(3,520 トン)・前年同期(1,349 トン)を上回りました。

大分県：期間中の総水揚げ量は 2,394 トンと、近年同期(853 トン)・前年同期(508 トン)を上回りました。

高知県：期間中の総水揚げ量は 2,120 トンと、近年同期(898 トン)を上回り、前年同期(1,161 トン)を上回りました。

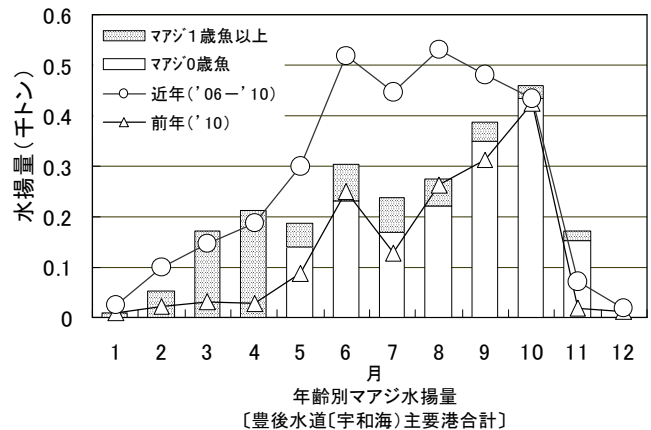
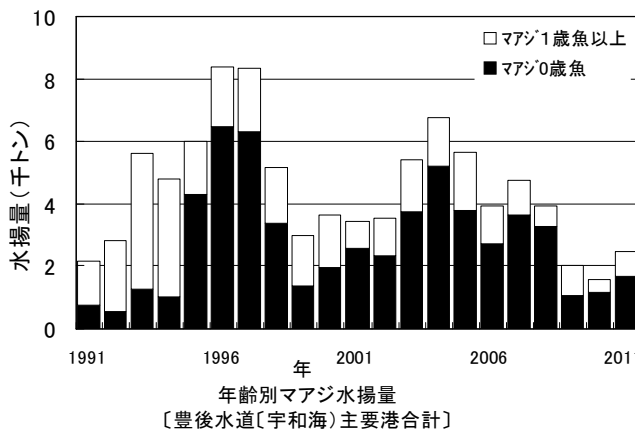
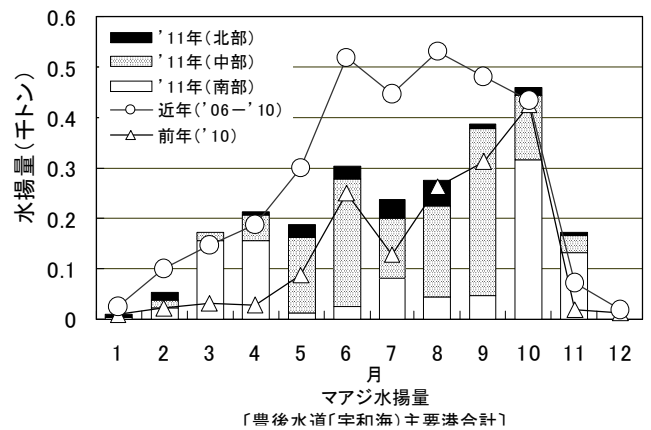
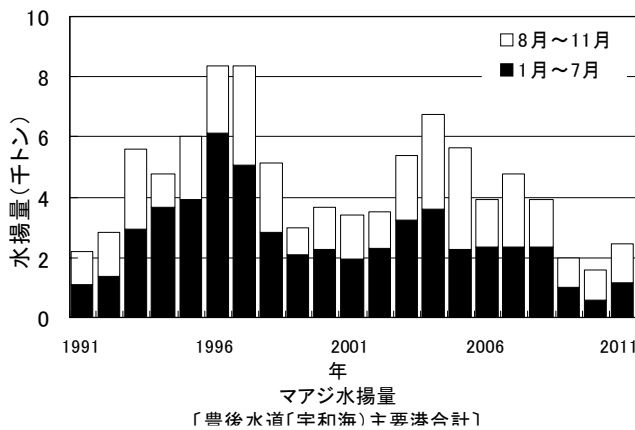
(近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

【豊後水道（宇和海）の漁況】

4 マアジ

1) 2011 年下半期[8 月～11 月]の経過 (近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

期間中の総水揚げ量は 1,295 トン(近年同期：1,521 トン)で、2006 年以降では 2009 年、2010 年に次いで少ない水揚げとなりました。海域別の水揚げを見ると、北部海域で 85 トン(近年同期：95 トン)、中部海域で 673 トン(近年同期：744 トン)、南部海域で 537 トン(近年同期：682 トン)の水揚げでした。年齢別で見ると 0 歳魚〔体長 10cm～17cm〕の水揚げが 1,157 トン(近年同期：1,309 トン)、1 歳魚以上〔体長 18cm 以上〕が 138 トン(近年同期：211 トン)で、いずれも近年同期を下回る水揚げとなりました。



(2) 2012 年上半期[1 月～6 月]の見通し (近年同期：2007 年～2011 年の 1 月～6 月)

漁獲水準は、前年同期並みとなる見込みです。

【説明】

上半期は、1 歳魚以上のマアジ〔体長 15cm 以上〕が期間を通じて漁獲され、また、5 月頃から 0 歳魚〔体長 10cm 以下〕の漁獲が始まる傾向にあります。

1 歳魚以上のマアジは主に中部のまき網によって漁獲され、その漁獲水準は前年 7 月～9 月のマアジ 0 歳魚の漁獲水準と相関があります。この関係から上半期の 1 歳魚以上の漁獲水準はやや上回ると予想されます。0 歳魚の漁獲水準については、現時点では不確実な部分が多いのですが、ここ数年、親魚量が減少傾向と推定されていることから前年同期をやや下回ると予想されます。総合すると前年並みになると予想されます。

【参考】近県まき網の水揚げ状況【集計期間：8 月～11 月】

(各県当該機関調査)

宮崎県：期間中の総水揚げ量は 1,250 トンと、近年同期(427 トン)・前年同期(218 トン)を上回りました。

大分県：期間中の総水揚げ量は 779 トンと、近年同期(779 トン)並みでしたが、前年同期(162 トン)は上回りました。

高知県：期間中の総水揚げ量は 419 トンと、近年同期(235 トン)・前年同期(379 トン)を上回りました。

(近年同期：2006 年～2010 年の 8 月～11 月)

【豊後水道（宇和海）の漁況】

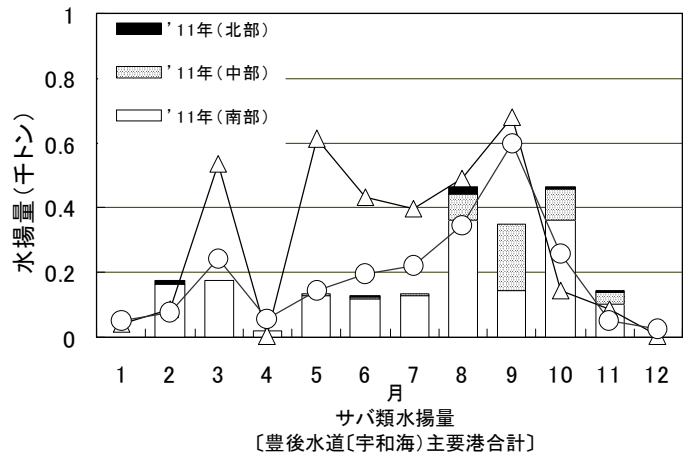
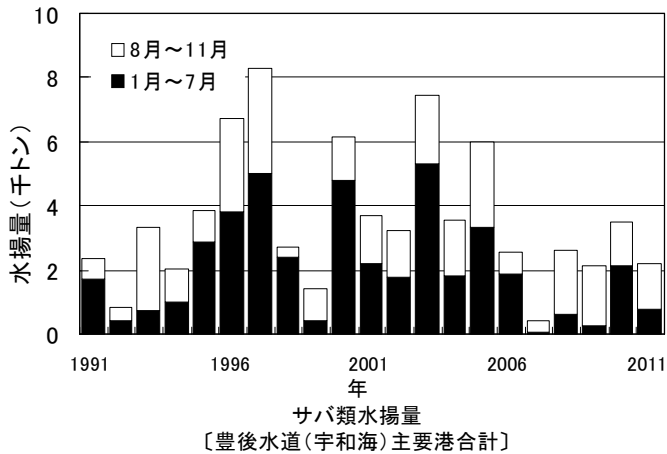
5 サバ類

(1) 2011年下半期[8月～11月]の経過（近年同期：2006年～2010年の8月～11月）

期間中の総水揚げ量は1,424トン（近年同期：1,254トン）で、2006年以降では2008年、2009年に次いで多い水揚げとなりました。

海域別の水揚げを見ると、北部海域で31トン（近年同期：12トン）、中部海域で418トン（近年同期：134トン）、南部海域で974トン（近年同期：1,108トン）の水揚げでした。

水揚げの主体は体長24cm～28cm前後のゴマサバ0歳魚と体長31cm～33cm前後のゴマサバ2歳魚でした。



(2) 2012年上半期[1月～6月]の見通し（近年同期：2007年～2011年の1月～6月）

漁獲水準は、ゴマサバ主体に前年同期を上回る見込みです。

【説明】

上半期の漁獲対象は、例年主体となる前年生まれのゴマサバ1歳魚〔体長25cm～30cm〕に加えて、2011年に多獲された2009年生まれのゴマサバ3歳魚〔体長32cm～35cm〕も漁獲の主体となると予想されます。

上半期の漁獲水準は、前年7月時点におけるゴマサバ太平洋系群の0歳魚の推定資源量（中央水研）、前年8～11月における南部まき網の漁獲水準と相関があり、この関係から前年同期を上回ると予想されます。

【参考】近県まき網の水揚げ状況【集計期間：8月～11月】

（各県当該機関調査）

宮崎県：期間中の総水揚げ量は2,208トンと、近年同期(3,702トン)・前年同期(5,806トン)を下回りました。

大分県：期間中の総水揚げ量は385トンと、近年同期(1,587トン)・前年同期(2,567トン)を下回りました。

高知県：期間中の総水揚げ量は796トンと、近年同期(663トン)・前年同期(752トン)を上回りました。

（近年同期：2006年～2010年の8月～11月）